

【科目名】 生活環境論		【担当教員】 高橋明美、松林義人、星野浩通
【授業区分】 専門分野(地域理学療法学)	【授業コード】 3-18-0690-0-1	(メールアドレス) 【高橋】 akemi.t@nur.ac.jp
【開講時期】 2 学年前期	【選択必修】 必修	【松林】 matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】 2	【コマ数】 15	(オフィスアワー) 【高橋】 月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30 【松林】 水曜日以外の在室時
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 福祉機器展など学外での授業がある場合は、教員の指導に従って行動すること (受講のルールに関わる情報・予備知識) 講義中は私語を慎み、学ぶ姿勢をもって臨むこと		
【講義概要】 (目的) 在宅障害者や高齢者が、より豊かに自立した生活を送るために必要となる住宅改修や福祉用具について、その方法、その種類や特性を学び、生活範囲の拡大を目指した関わりができることを目的に学修する。また、住宅改修や福祉用具を活用するために必要となる、医療・福祉制度についても学修する。 (方法) 住宅改修、福祉用具の基礎を講義で行い、具体的な実践例の紹介からグループワークを交えたディスカッションを行い理解を深める。また、福祉用具の理解を深めるため、福祉用具の展示場を見学し、実際に疑似体験も行う。		
【一般教育目標(GIO)】 理学療法士は、対象とする人の身体的および精神的機能の維持向上を図るだけではなく、各人がおかれている生活環境の中で、より豊かに自立した生活が送れるように支援することが求められる。そのために必要な知識や技術を理解し、実際に提供できるようにすることが目標となる。 【行動目標(SBO)】 ① 生活環境の概要について説明できる ② 生活環境評価の手順を理解し、評価のポイントを説明できる ③ 生活環境改善計画の実際を理解し、症例に即した改善計画を立てることができる ④ 生活環境改善に必要な住宅改修や福祉用具について説明することができる ⑤ 住宅改修や福祉用具を活用するために必要な法的制度について説明できる		
【教科書・リザーブドブック】 教科書；鶴見隆正，隆島研吾（編）：標準理学療法学，専門分野，日常生活活動学・生活環境学，第4版，医学書院，2012，5400円（税別）		
【参考書】 ① 伊藤利之・江藤文夫（編）：新版日常生活活動（ADL），評価と支援の実際，医歯薬出版，2010 ② 野本歡・橋本美芽：OT・PTのための住環境整備論，第2班，三輪書店，2014		
【評価に関わる情報】		

平成 26～28 年度入学者用

(評価の基準・方法)									
本学学則規程の GPA 制度に従う。									
グループ発表、レポートにより総合的に評価する									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポー ト	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	50	50	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	0	0	25	20	0	0	0	45
	思考・推論・創造の力	0	0	25	20	0	0	0	45
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	10	0	0	0	10
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法		学修課題(予習・復習)				時間(分)	
1	オリエンテーション 生活環境学の概念	講義 (高橋)		(予習) 教科書 (pp224-231) を読んでおくこと (復習) 講義のまとめと疑問点の整理をすること				30	
2	日常生活を支援する機器 (自 助具、歩行補助具、車いす)	講義 (星野)		(予習) 教科書 (pp291~300) を読んでおくこと。				30	
3	高齢者の在宅サービス	講義 (星野)		(予習) 教科書 (pp312~318) を読んでおくこと。				30	
4	生活環境と法的制度	講義 (松林)		(予習) 教科書 (pp248-274) を読んでおくこと。 (復習) 講義内容をまとめ理解すること				30	
5	障害者の住宅改修の基本と進 め方	講義 (松林)		住宅改修の基本について理解しておくこと。				30	
6	障害者の住宅改修 (グループ ワーク①)	講義・実習 (星野)		住宅改修の提案を自ら考えること。				30	
7	障害者の住宅改修 (グループ ワーク②)	講義・実習 (星野)		住宅改修の提案を自ら考えること。				30	
8	障害者の住宅改修 (グループ ワーク③)	講義・実習 (松林)		住宅改修の提案を自ら考えること。				30	
9	福祉機器展の見学および体験	学外実習 (高橋、星 野)		(予習) 教科書 (pp80-109) を読んでおくこと (復習) レポートにまとめられるよう整理すること				90	

平成 26～28 年度入学者用

10	福祉機器展の見学および体験	学外実習 (高橋、星野)	(予習) 教科書 (pp80-109) を読んでおくこと (復習) レポートにまとめられるよう整理すること	90
11	住宅改修と理学療法	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp291-300) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ疑問点を整理すること	30
12	住宅改修と理学療法	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp291-300) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ疑問点を整理すること	30
13	障害者の住宅改修について①	グループ発表	(予習) グループで発表に向けた準備をして臨むこと (復習) 質問や指摘事項をグループで整理すること	120
14	障害者の住宅改修について②	グループ発表	(予習) グループで発表に向けた準備をして臨むこと (復習) 質問や指摘事項をグループで整理すること	120
15	まとめ 症例	講義 (松林)	講義全体をよく理解し、まとめること	60
試験				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。